

■■■演壇にて■■■

皆さん、こんにちは。三度のメシより佐渡が好き!!! 室岡啓史でございます。政風会幹事長として、『なんでも提案団』として通告に従い一般質問をいたします。

なお、資料のPDFデータは、室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会オフィシャルサイトにアップしておりますので、テレビをご覧の方は是非とも見てみてください。

『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現にむけて3点について質問します。

▼【1】毎年3月10日を『心の佐渡市民の日』（仮）とする条例制定について提案です。

【1-1】平成29年度中の世界遺産国内推薦獲得への戦略について、佐渡市としてどのようなことを考えているか。例えば、3月10日を『心の佐渡市民の日』（仮）として、佐渡市民や観光のお客様による佐渡金銀山の魅力の再発見、知識の共有、郷土愛醸成の日の一日として、『お客様感謝デー』を決行するべきではないかと考えます。

【1-2】3月10日（佐渡の日）の現状と提案としての現地ガイド付きの公開施設について佐渡観光協会が観光キャンペーンとして展開する現状についてお教えてください。  
└例えば、佐渡博物館、両津郷土博物館等佐渡市所有の文化施設、全島の温泉施設について無料開放することを実行するべきではないでしょうか。また、佐渡金山、佐渡歴史伝説館、西三川ゴールドパークといった民間による観光施設についても、無料開放もしくは補助施策の実行により、3月10日を『お客様感謝デー』とするべきではないかと考えます。

【1-3】佐渡準市民制度の現状についてお聞かせください。

『準市民』という名称を変更するべきではないか。また、企業版ふるさと納税の利活用、一社一村運動の提案先として、首都圏佐渡連合会のみならず、佐渡準市民の方々へも大いにPRするべきだと考えますが、佐渡市の見解をお聞かせください。

【1-4】佐渡市のビジョンについてですが、就任半年の現在における三浦市制のビジョンをお聞かせください。

私は、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』実現のため、ふるさと見分けというイベントや、マチ・ムラ歩き、あいぽーと佐渡において『集落マーケット』を実施して参りました。詳細は、後ほど報告し、議論したく思います。

▼【2】文化財・伝統建築を建築基準法対象外とする条例制定についての提案です。

【2-1】歴史的建築物を保存活用について

鎌倉市は、歴史的建築物の保存活用を促すため国や県、市が文化財として登録・指定した建築物などを対象に、建築基準法の適用を独自に除外する手続きを定めた条例案を市議会9月定例会に提出されました。代替的な手法を用いて建築物の安全性を確保し、柔軟に保存活用できるようにすることが目的です。

条例案では、保存活用を希望する建物所有者が市へ保存活用計画を提出。計画には、歴史的価値を保ちつつ安全性が確保できる工法や維持管理の方法を示す。

市は計画を検証し、建築審査会の同意を得た上で同法の適用を外す。

歴史的建造物の多くは同法制定（1950年）以前に建てられたり、新耐震基準（81年施行）を満たしていなかったりしているため、耐震性や防火性などの問題から、保存や活用を断念せざるを得ないケースがあった。

同様の条例はすでに、京都市や福岡市、埼玉県川越市などで制定され、町家の保存活用などに生かされております。この状況について佐渡市の見解を問います。

**【2-2】 兵庫県篠山市の一般社団法人ノオトについて**

7月に会派として兵庫県朝来市、篠山市の行政視察に行つて参りました。一般社団法人ノオトが朝来市、篠山市、豊岡市といったエリアの数十物件を再生し、城下町ホテルの展開によるマチの活性化、NPO 集落丸山によるムラの活性化を実現した最先端の事例を目の当たりにして参りました。

**【2-3】 鹿児島県奄美大島の伝泊について**

奄美大島でもこの夏前に伝統的建築物への宿泊体験ができる『伝泊』という予約宿泊サービスが開始されました。

佐渡市としても佐渡版 DMO を構築するべく現在準備中とのことですが、最先端の滞在型観光の事例を学び、佐渡へと生かす実行力が求められております。

**▼ 【3】 地産地消・食べ残し減少のための条例制定・運動についての提案です。**

**【3-1】 地域のお酒で乾杯！ 条例について、全国およそ 30～40 の自治体で既に施行されております。さらなる地産地消を推進するべく、佐渡市としても実行するべきだと考えます。佐渡市の見解をお聞かせください。**

**【3-2】 食べ残しを減らそう県民運動『宴会たべきりキャンペーン』（長野県）について** 健康長寿を推進する長野県の県民運動として、『宴会たべきりキャンペーン』が最近始まっております。消費者庁が推進する『食品ロス削減国民運動』の取り組みとも非常にマッチする運動です。

**【3-3】 残さず食べよう！ 「30・10（さんまる・いちまる）運動」（松本市）について** 長野県松本市でも市として「30・10（さんまる・いちまる）運動」を展開しております。宴会の最初の30分、最後の10分は自分の席で、席を立たず、周りの人とお話をしながら料理や酒を楽しもう。それにより食品ロスを削減しようという運動です。各地で食に関する条例制定・運動が盛んです。佐渡市として、明日からでも推進するべき運動と考えますが、見解をお聞かせください。

以上で、一回目の質問を終了します。

=====  
■■■■2回目の質問■■■■

▼【1】毎年3月10日を『心の佐渡市民の日』（仮）とする条例制定について

【1-1】平成29年度中の世界遺産国内推薦獲得への戦略について

└3月10日を佐渡市民の佐渡金銀山の魅力の再発見、知識の共有、郷土愛醸成の日

◆毎年-1000人（自然減+社会減）

<http://arkot.com/jinkou/>

世界の人口は、1分に137人、1日で20万人、1年で7千万人、増えています。

**1秒間に2.28人、8時間で65,760人増えている。**

世界中で、1年に6千万人が亡くなり、1億3千万人が産まれます。

貧富の拡大、温暖化など問題が山積です。

石油の枯渇が近づき、表土と森が失われています。

水と食料が、病院と学校が不足しています。

人の生活が、太陽と地球からの恵みを、超えそうです。

日本の人口は1億2756万人。毎日2935人が生まれ、3279人が亡くなっています  
(H23 総務省&厚労省)

佐渡の人口-1,000人/年⇒∴1日3人減っている。⇒8時間で1人減っている。⇒朝出勤して、  
夕方帰る頃に1人減っている。

◆私は、佐渡の①農山漁村集落を巡りながら余暇を過ごす滞在型観光、そして②農山漁村集  
落の生業を大切に守り育て、生き生きと暮らせる地域づくりの仕組みとして、『佐渡アイラ  
ンド集落ツーリズム構想』の実現を目指して参ります。集落のチカラは佐渡のチカラです。  
サービス開始は数年以内にできるとしても完成するのに50年はかかると見込んでいる壮大  
な構想です。

◆佐渡市民の日

千葉県民の日をモデルに

『トキめき新潟県民の日』（仮）

新潟県条例を佐渡発信で12月議会に上程してもらう。

新潟県知事が変わって初めての定例会で上程することには大きな意味があると思う。

泉の湧水は森が育む。

遊び心が必要ではないか。⇒移住サイト、ジオパークのサイト

笑点の開催誘致。

3月10日は佐渡の日として、観光キャンペーンについて

3月10日は佐渡市民の日とする

公立小中学校はお休みにするべきではないと考える。

観光施設の入場料は大人310円もしくは無料、高校生以下無料

佐渡博物館等、市の公共施設は無料開放。

佐渡金山、歴史伝説館等の民間施設については要議論。

現地のガイドを無料に。⇒ガイドによる説明は大変勉強になります。  
市の温泉施設を無料開放。

- 【1-2】3月10日（佐渡の日）の現状と提案としての現地ガイド付きの公開施設について  
└ 佐渡金山、佐渡歴史伝説館、佐渡博物館、両津郷土博物館 etc

ロトルア市民は市の公共施設は無料で入ることができる。  
ニュージーランドの北東  
ロトルア（小さな温泉町）の事例  
間欠泉、温泉

- 【1-3】佐渡準市民制度の現状について  
└ 名称変更の可能性、企業版ふるさと納税の利活用、一社一村運動の提案先

『佐渡準市民制度』について、『準』とは二番目の意味です。ナンバーツーではダメでしょう。  
オンリーワンであるべきです。『佐渡準市民制度』⇒『心の佐渡市民』とすることはそういう  
意味です。

- 【1-4】佐渡市のビジョンについて  
└ ふるさと見分け、マチ・ムラ歩き・集落マーケットの報告

佐渡市長と市議会・佐渡市民とのお見合い『ご趣味は？』からはじめましょう！  
イメージの共有

【床面】情念＝三度のメシより佐渡が好き！！、心の佐渡市民

【基壇】ビジョン＝集落多様性を世界に誇る佐渡アイランド集落ツーリズム構想の実現  
政治信条＝佐渡が好きな人の最大多数個人の最大幸福  
座右の銘＝温故知新

【机面】数百の施策があり、各課が担当。総合政策監や総務課、総合政策課、財務課等が横串  
を刺す。副市長が二つに分けて担当し、市長がすべてを包括する。

▼【2】文化財・伝統建築を建築基準法対象外とする条例制定について

- 【2-1】歴史的建築物を保存活用について  
└ 鎌倉市条例案、福岡市条例、京都市条例について
- 【2-2】兵庫県篠山市の一般社団法人ノオトについて  
└ 城下町ホテル、集落丸山のマチ・ムラ活性化
- 【2-3】鹿児島県奄美市の伝泊について  
└ 伝統的建築物への宿泊

観光 DMO をつくってから佐渡版一般社団法人ノオトモデルを構築するという考え方もある。

小値賀島

1年で10日間？サザエ・アワビ・ウニなどが採り放題 2500円

重要文化的景観

教育に力を入れている

小中一貫教育

古民家ステイの島、全6島

民泊

野崎島のサバンナ

野首天主堂

▼【3】地産地消・食べ残し減少のための条例制定・運動について

【3-1】地域のお酒で乾杯！条例について

【3-2】食べ残しを減らそう県民運動『宴会たべきりキャンペーン』（長野県）について

【3-3】残さず食べよう！「30・10（さんまる・いちまる）運動」（松本市）について

---

---

~~~~~

税金でメシを食うということは常に説明責任を果たさなければならない、ということをも最近とても強く感じます。市民の皆さんに分かりやすくビジョンを伝え、さまざまな事柄についてご理解をいただくことによってのみ佐渡の明るい未来はつくられると確認しております。

次回12月では佐渡空港2,000m化の実現について、一般質問を行う予定です。①佐渡とオアフが姉妹島になるといった夢のある話、②定量的な運営の試算と経済効果、③大学研究機関の誘致とベンチャー企業起業支援といった明確なビジョン この三点をポイントに三ヶ月間の準備を進めて参ります。

佐渡において〇〇問題という風に何事も「問題化」し過ぎる風潮が強いように思います。いける！というプラスの確信をまずは持つことが必要だと考えます。そして、佐渡市民の皆さん、佐渡市議会、佐渡市長、佐渡市執行部が、大野亀のような日本最大級の一枚岩となって、皆さんで佐渡の明るい未来をつくって参りましょう。是非とも『佐渡アイランド集落ツアーリズム』を一緒にやりましょう。これで私の一般質問を終わります。お時間ありがとうございました。

---

---